

(別紙様式)

(A3判横)

# 平成30年度 学校自己評価システムシート ( 県立浦和第一女子高等学校・定時制 )

目指す学校像	一人一人が大切にされ、落ち着いて学べる教育を推進し、社会ではばたく力を育てる。
--------	---

重点目標	1 「授業がいのち」を合い言葉に、一人一人の学力に応じた丁寧な指導を通して基礎学力の充実を図る。 2 生徒の実態に即したきめ細かな指導を通して将来への展望を拓かせる。 3 地域社会・保護者等と連携した教育活動を推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<b>【現状】</b> 生徒間の学力に差はあるが、全体として学習意欲はあり、授業についての満足度も高い。外国籍生徒に対する指導が必要である。  <b>【課題】</b> ・「授業がいのち」という学校文化を伝承させる。 ・学習規律の確立と基礎学力の充実を図る。 ・外国籍生徒に対する支援を行う。	主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を行う。  個々の生徒の状況に応じた支援を行い、基礎学力の充実を図る。	①教務部を中心に、生徒の資質・能力に応じた授業形態を工夫する。アクティブ・ラーニングに係る授業研修会を行う。 ②教務部、生徒指導部を中心に授業規律の確保について共通認識を図る。	①授業アンケートで授業において「おおむね満足」と回答している生徒が9割以上であるか。 ②欠点保有者が減少したか、成績優秀者が増加したか。	①授業アンケートでは、授業の満足度に関するすべての項目で9割以上の生徒が「おおむね満足」と回答している。 ②欠点保有者は昨年同期より1名減少し、6名であった。成績優秀者は14名で、昨年同期より4名減少した。	A	○一人一人の進路希望、資質・能力に対応した、質の高い授業展開を行うことで、「授業がいのち」という学校文化の一層の定着を図る。
2	<b>【現状】</b> 4年間を見据えた系統的な進路指導体制が整っているが、生徒の進路意識の向上と進路実現を目指す必要がある。生徒主体の充実した学校行事が行われている。部活動も盛んである。  <b>【課題】</b> ・生徒主体の生徒会行事運営を行う。 ・進路計画に応じた、学年ごとの進路目標を実現させる。 ・資格取得を支援する。 ・校外での体験活動やアルバイト等を推奨する。	日常の学校生活と学校行事等をより充実させる。  教科領域横断的で系統的な進路指導計画を実施する。	①生徒指導部を中心に、通年で基本的な生活習慣の確立に向けた指導を強化する。 ②生徒会を中心に、行事等で主体的に運営させることで、生徒の自己肯定感を喚起する。 ③保健部、担任を中心に、教育相談的な対応を行うとともに、健康管理意識を高める。	①生徒の出席率は9割以上であるか。 ②学校行事等学校生活の満足度が高まったか。 ③懲戒処分や安易な進路変更を防止できたか。	①生徒の出席率は2学期末現在、89.7%である。 ②学校生活に関するアンケートでは、8割以上の生徒が「学校行事は楽しい」と回答するなど、満足度が高い。 ③2学期末現在で、懲戒処分は1件1名、退学者は0名である。	A	○2学期で欠席時数が増える傾向にあるため、先を見据えた学校生活を送れるよう、粘り強く指導する。 ○生徒の声を丁寧に聞き、学校行事を更に充実させることで、生徒の自己肯定感を育む。 ○全日制生徒会との交流を継続し、全定ともに取り組める内容を検討する。
3	<b>【現状】</b> 生徒が地域行事に積極的に参加している。ホームページの定期的更新により、生徒・保護者・地域の閲覧状況は良好である。  <b>【課題】</b> ・保護者の学校への関心をより高める。 ・地域の方々等に生徒を直接見ていただく機会を増やす。 ・県唯一の定時制女子高校として、中学生への本校のPRを積極的に行う。	PTA活動を活性化させる。  地域社会との連携を深める。	①PTA部を中心に、保護者にPTA行事、学校行事への参加を促す。 ②担任を中心に、生徒の様子を家庭に対して逐次連絡する。 ③職員がホームページを通して、生徒の活動の様子などを発信する。	①アンケートにより学校に対する保護者の満足度が高まったか。 ②PTA行事、学校行事における保護者の参加数が増加したか。 ③ホームページの更新回数が80回以上であったか。	①学校生活に関するアンケートでは、8割以上の保護者が「入学させてよかった」「魅力的な学校である」と回答している。 ②PTA行事、学校行事等で昨年より多く保護者の参加があった。 ③2学期末現在ホームページの更新回数は106回である。	A	○保護者の学校に対する要望に応えられるよう、学校の取組を積極的に発信し、保護者の学校への信頼を強める。 ○今後もPTA活動を広報誌やホームページに紹介し、保護者の参加を促すことで、連携を密にする。
			①教務部を中心に、講演会等を地域に開放すると共に、学校公開等で中学生及びその保護者に、生徒が発表する機会を作る。 ②生徒会を中心に、地域行事への参加を呼びかける。	①講演会、学校公開等に地域の方、中学生及びその保護者の参加があったか。 ②生徒が地域の行事に参加したか。	①講演会を地域に開放し、7月の講演会に自治会からの参加があった。 ②4月の桜祭りや7月の夏祭りに、生徒会生徒を中心にのべ6名の参加があった。	B	○地域の方が気軽に参加できるよう、講演会等の内容を検討する。地域案内のお知らせを誰がみてもわかりやすいように工夫改善し、開かれた学校づくりに努める。 ○地域の情報を把握し、全生徒が地域行事への参加ができるよう促す。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成31年2月23日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>基礎学力定着のためのサポートを行っている、一人一人を大切にしている。生徒一人一人に対して、きめ細やかなサポートを行っている。</p> <p>学習サポートは進学を希望する生徒に対して、授業では行っていない発展的な内容を学べるのがよい。また、日本語に慣れていない生徒へのサポートも行っていて、授業の進度に差が出ない工夫がされている。</p> <p>習熟度授業展開があることで、理解度に応じた指導を受けることができる。そのことが、生徒の満足度が高いことに結び付いている。</p> <p>学校行事の満足度が高いこと、多くの保護者が入学させてよかったと答えていること、そして、出席率が90パーセント近くあり、退学者がいないというのは、ほかの定時制高校とは違っている。学力だけでなく、心のサポートも行っている成果である。</p> <p>中学校時代に行事を経験できていない生徒が多いにもかかわらず、入学後たくさんの学校行事を経験することで、自己肯定感を育んでいった結果が、「学校行事は楽しい」と回答する割合が高い要因だと思う。最近では入学者が減少し、それに伴って、生徒会の予算が減少しているのが難しいが、工夫して継続していければと思っている。</p>	
<p>桜まつり、夏祭りでは、和気あいあいと参加していただいて、一步一步つながりができています。</p> <p>地域が文化祭、体育祭などの行事につながりを持っていただけるとさらによくなる。</p> <p>70歳を超えても働く時代なので、難しいかもしれないが、年代を越えた、社会の中で生きる大切さを、地域・学校で互いに学びあうことができればよいと思っています。</p>	